

生涯学習出前講座

問い合わせ
生涯学習課 ☎38-2091

市が行っている仕事で、皆さんがわかりにくいことや、お聞きになりたいこと、暮らしに役立つ話や実技などについて、市職員が皆さんの希望される場所へ出向き説明します。<講師料不要>

- 日時 12月25日～1月15日を除く・午前9時～午後9時までの間 90分以内
- 会場 学習会主催者が市内に確保(会場は市内に限る)
- 内容 下表から選択(メニューにない講座については要相談)
印は、資料またはビデオ・DVD等の貸し出し可能
- 対象 市内在住・在勤・在学者で構成する20人以上の団体やグループ
- 申し込み 講座開催予定日の1カ月前までに、生涯学習課へ

NO	出前講座メニュー	担当課
1	行政改革について～芦屋市の現状と今後の取り組み～	行政経営課
2	芦屋市の国際交流について ～姉妹都市・友好都市の現状～	広報国際交流課
3	市民参画協働について ～市民と市の協働による住みよいまちづくり～	市民参画課
4	財政状況について～芦屋の台所事情～	財政課
5	ストップザ・悪質商法 ～悪質商法・多重債務・食の安全性・その他～	経済課
6	国民健康保険について ～知っておきたい国民健康保険としくみ～	保険課
7	長寿医療制度(後期高齢者医療制度)について ～知っておきたい長寿医療制度(後期高齢者医療制度)としくみ～	
8	人権について～守ろう人権!育もう思いやりの心～	上宮川文化センター
9	児童センター事業の概要 ～児童の健全育成と子育て支援～	
10	芦屋市の環境について～環境の現状と対策～	環境課
11	地球環境問題について ～ストップ温暖化に取り組もう～	
12	ごみの出し方 ～ごみの分別(燃えるごみ・燃えないごみ・資源ごみ)～	収集事業課
13	芦屋市の廃棄物処理について ～ごみ処理と環境への影響(施設見学もできます)～	環境施設課
14	子ども・子育て支援新制度について ～就学前の子どもに関する制度が変わります～	子ども政策課
15	芦屋市の子育て支援について～少子化時代の子育て～	子ども課
16	子育てセンター事業について～子育てを支援します～	
17	乳幼児の食育について ～食べることの大切さを見直そう～	保育課
18	芦屋市の保育について～保育の現状～	
19	交通安全について ～自転車の正しい乗り方・交通事故の抑制について～	都市建設部総務課
20	公園の楽しみ方 ～庭園都市を目指すASHIYAの公園の楽しみ方～	
21	芦屋のみちの木～みんなで育てるみんなの街路樹～	公園緑地課
22	防災・減災について ～知っておきたい「災害のこと」「事前の備え」～	
23	防犯対策について ～犯罪認知件数と傾向について、被害を防ぐために～	防災安全課
24	都市計画について ～地区計画・まちづくり協定の概要と進め方～	
25	住宅の耐震診断と耐震改修の助成について ～震災に備えて～	建築指導課
26	マンション長期修繕計画 ～お手持ちの長期修繕計画を見直しましょう～	
27	マンション管理組合は上手く運営できてますか ～理事会の運営・標準管理規約についてなど～	住宅課
28	芦屋の下水道～もっと知って!下水道～	
29	芦屋市の水道～水源から蛇口まで～	下水道課・ 下水処理場
30	女性消防団員の行う幼時教育 パネルシアター火災編 ～動く絵本で学ぶ火の怖さ・煙の怖さ(対象:幼稚園児から小学3年生)～	消防本部消防総務課
31	女性消防団員の行う高学年向け教育 パネルシアター 応急手当編 ～動く絵本で学ぶいざというときの応急手当(対象:小学4年生から小学6年生)～	
32	応急手当講習～みんなで覚えよう!「応急手当」～	消防本部警防課
33	普通救命講習～普通救命講習ライセンスの習得～	
34	消防署見学～消防署を実際に見てみよう～	

NO	出前講座メニュー	担当課
35	防火講座～住宅防火のキーワード～	消防本部予防課
36	消火訓練 ～最初は消せる小さな火「消火器の正しい使い方」～	
37	芦屋市地域福祉計画について ～高めよう 地域の福祉力～	地域福祉課
38	成年後見制度と権利擁護 ～ご存じですか?成年後見制度～	
39	保健福祉センター見学 ～保健福祉センターへようこそ～	福祉センター
40	障がい福祉サービスについて ～障がいのある人もない人も輝いて暮らせるまちを目指して～	
41	高齢者による社会貢献～社会でのさまざまな役割～	高齢福祉課
42	認知症サポーター養成講座 ～認知症を理解し、地域で支え合おう～	
43	芦屋すこやか長寿プラン21 ～高齢者福祉計画・介護保険事業計画～	介護保険課
44	高齢者の介護予防事業について ～できるだけ長く健康を保つために～	
45	介護保険について ～申請・利用をするには、どうすれば良いの?～	芦屋ハートフル福祉公社
46	芦屋ハートフル福祉公社の事業について ～介護保険事業 障がい福祉サービス事業 芦屋市からの受託事業 福祉社会員向け事業～	
47	健康で楽しく過ごすために ～生活習慣病の予防について～	健康課
48	健診結果どうすれば良くなる? ～健診結果の見方・生活習慣改善方法について～	
49	禁煙応援し隊～禁煙を成功させるには～	健康課
50	年齢別子育てポイント『6カ月～1歳半』『1歳半～2歳半』『2歳半～3歳半』の育児～	
51	予防接種について ～乳幼児期の予防接種の受け方について～	スポーツ推進課
52	乳幼児期の食育について ～おいしく楽しく食べましょう～	
53	第2次芦屋市健康増進・食育推進計画について ～みんなで健やか 元気なあしや～	スポーツ推進課
54	ウォーキング・ニュースポーツ・ファミリースポーツ・なつかし外遊び ～気軽にスポーツ体験をしてみませんか?～	
55	幼児教育～楽しい幼稚園～	学校教育課
56	特別支援教育～障がいのある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向けて～	
57	国際理解教育 ～子ども多文化共生教育の推進について～	学校教育課
58	学校図書館教育 ～「子ども読書の街づくり」をめざして～	
59	進路指導～自分の将来や生き方を考える～	打出教育文化センター
60	子ども理解 ～思春期、反抗期の子どもに対する接し方について～	
61	情報モラル教育について ～情報モラルや情報社会の影の部分について～	打出教育文化センター
62	子育てなやみ相談 ～小グループ形式で、子ども理解のあり方を共に探る～	
63	社会教育関係団体について ～社会教育活動の活性化～	生涯学習課
64	放課後子どもプランについて ～放課後の子どもの居場所づくり～	
65	歴史・文化財講座～郷土芦屋の歴史と文化財～ 遺跡・歴史文化遺産めぐり ～芦屋の遺跡・歴史文化遺産をたずねて(現地学習)～	青少年愛護センター
66	愛護活動について～青少年の健全育成を目指す見守り・パトロールの状況～	
68	公民館の事業～公民館活動に参加しよう!～	公民館
69	絵本の読み聞かせについて ～豊かな心、情操教育に絵本を～	
70	芦屋病院について～病院全般について～	芦屋病院
71	上手な病院のかかり方～かかりつけ医のおすすめ～	

いじめや体罰が大きな社会問題として取り上げられ、学校教育のあり方が厳しく問われています。本市では、これまでも命と人権を大切に教育の充実をめざして取り組んできましたが、改めて子どもたちが安心・安全に学べる環境づくりに向け、真摯(しんじ)な姿勢で臨まなければならないとの意を強くしています。

教育委員会が発信しました「いじめは絶対に許さない」「体罰は絶対にあってはならない」「力に頼らない、心に響く指導を行う」「子どもや保護者とのコミュニケーションを大切に」「問題への対応は、迅速・ていねいに行く」という5点を再認識し、よりよい指導の在り方について見直しを重ねていくことが大切になります。そして、学校・家庭・地域が連携して、知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成に努め、子どもたち一人一人が大人になった時に「芦屋で学び、育って、本当によかった」と思える「教育のまち芦屋」の実現をめざしてまいります。

今、社会から尊敬・信頼を受ける教職員、思考力・判断力・表現力などをたくむ実践的指導力を有する教職員、困難な課題に同僚と協働し、保護者・地域と連携して対応できる教職員の育成が求められています。そのために教職員一人一人がさまざまな課題に対応できる専門的な知識・技能を向上させるとともに、地域の力を活用しながらチームとして組織的かつ効果的な取り組みを進めなければなりません。

本年度は、理科授業の充実に向けた小学校へ指導補助員の配置、校務支援システムの有効活用などを通して、子どもと向き合う時間の確保に努め、『芦屋市教育振興基本計画』に示す「夢と志をもって自らの未来を切り拓く子ども」を見据えた実践を積み重ねていきます。

教育施策の6つの重点目標

- 1** 豊かな人間力をはぐくむために、考える力や創造性を伸ばす教育を進めます。子どもたちが個性豊かに、自立して社会で生きていくために必要な人間力の基盤となる確かな学力、豊かな心、「健やかな体」をバランスよく身に付けるための指導の充実を図ります。
- 2** 命と人権を大切に教育の充実に取り組めます。さまざまな人権課題の解決に向けて、人権尊重の精神の育成を図る人権教育のさらなる充実を図り、全ての人の人権が尊重され、相互に共存し、平和で豊かな共生社会の実現をめざします。
- 3** 信頼され魅力ある学校園づくりに取り組みます。公立学校園が子どもたちや保護者地域にとって魅力あるものとなるよう、学校園長のリーダーシップのもと、教職員の資質や実践的指導力の向上、教育環境の整備、新たな学校園の連携システムの確立等を積極的に進めます。
- 4** 自ら本を手に取り、本が好きなお子も育てます。子どもたちに豊かな心をはぐくみ本を活用して実生活に役立てるといった観点から、読書活動の充実に向け、引き続き取り組み、ブックワーム芦屋の子を育成します。
- 5** 学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えます。学校園と家庭・地域との連携をより充実させ、学習活動や安全確保のための活動など、家庭と地域が積極的な学校支援を行えるような取り組みを進めます。
- 6** いつでも、どこでも、だれでも「参画できる生涯学習社会」づくりを推進します。多様化・高度化・個別化する学習ニーズに対応し、学習者にとって利用しやすい学習機会を拡充するために、いつでもどこでも、だれでも活用できるように、情報発信や講座開設などのソフト面と、関連施設(ハード面)をも充実させていきます。

就学奨励費の申請

市立の小・中学校に在学している児童・生徒の保護者で、経済的な理由により就学させることが困難な人に対し、学用品・通学用品費・校外活動費などの援助を行っています。

■対象 生活保護受給者 児童扶養手当受給者
失業中のかた 世帯の前年の所得額が基準額以下のかた等

■申請方法 各学校へ申請してください。

問い合わせ 教育委員会管理課 ☎38-2085

4月後半 GATV 広報番組ガイド

オープニング	トピックス	特集	お知らせ	エンディング
業平さくら通り	【春の特別展】猫を愛した作家たち 公民館設置60周年記念& 春の公民館講座・開講記念講演会	具体美術って何?	市民と市長の「集会所トーク」を開催します	芦屋散歩
9:00	12:00	15:00	18:00	22:30

※DVD 貸出可

■広報番組「あしやトライあんぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
■番組に関する問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006 ■GATV全般に関する問い合わせ J:COM神戸芦屋カスタマーセンター ☎0120-999-000

「愛新覚羅溥儀・浩」展とセミナー

波乱の生涯を送った、清朝最後の皇帝「ラストエンペラー」の弟「愛新覚羅溥儀」の次女、福永? 生さんが所蔵する、父との書簡・写真・溥儀の書などを展示

■会期 5月8日～20日(火曜日休館)
■会場 市民センター展示場

【展示関連セミナーと関連の映像鑑賞】
■日時 5月10日(金)午後2時～4時
■会場 市民センター401室 ■テーマ (結婚式の朝)
ラストエンペラーと愛新覚羅溥儀・浩 ■講師 神戸夙川学院大学教授・河内厚郎氏 ■申し込み はがきかファクスにセミナー名・氏名・住所・電話番号を明記し、4月26日(金)までに下記へ

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/
FAX31-4998(〒659-0068 業平町8-24)

公民館音楽会

六車智香「母の日コンサート」

■日時 5月12日(日)午後1時30分～2時45分
■会場 市民センター音楽室 ■出演 六車智香(ソプラノ)・金子正樹(ピアノ)

■曲目 カネーションに寄せて・母に教え給いし歌・花は咲く・この道ほか
■参加料 500円 ■申し込み はがきかファクスに事業名・住所・氏名・参加人数(1人または2人)・電話番号を明記し、4月26日(金)までに下記へ

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/
FAX31-4998(〒659-0068 業平町8-24)

平成25年度 芦屋の教育指針

問い合わせ
学校教育課 ☎38-2087/生涯学習課 ☎38-2091

「教育のまち芦屋」をめざして

～人間力の育成と地域力の向上～

■芦屋の教育がめざす姿
本市では平成二十二年十二月に「芦屋市教育振興基本計画」を策定し、平成二十三年度からの五年間において、「芦屋で育てたい子ども」の観点から本市が教育でめざす姿を明確にし、教育の取り組みについての考え方や具体的施策を計画として示しています。

この計画に基づき、教育のまち芦屋をめざして信頼される学校園と成熟した家庭・地域の中で、子どもたちに豊かな人間力をはぐくむ取り組みを進め、次のような人間の育成をめざします。

《めざす人間像》
知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自らの夢や志の実現に向けて努力する人
社会の構成員として自覚と責任をもつ主体的に行動し、明日の芦屋の担い手となる人
我が国の伝統と文化を基盤として、幅広い知識やコミュニケーション能力等世界に通用する力を培い、高い志をもって国際社会に貢献できる人

芦屋で育てたい子どもの姿

基本計画では育てたい子ども像を夢と志をもって自らの未来を切り拓く子どもの姿として、次の四つを掲げています。

《育てたい子どもの姿》
目標をもち課題解決に向けて自ら考え、取り組み子どもと共に支えあい生きよとする心豊かな子ども
体力を向上させ健康的に生きる自覚をもつ子ども
自ら本を手に取り本が好きな子ども